

取手市のデジタル化推進への取り組み ～AI議会答弁書作成支援システムという衝撃～

事例に学ぶ自治体改革

「♥議会愛♥」

2025(令和7)年12月17日

本日は、よろしく願いたします

取手市役所 総務部 情報管理課長

早稲田大学デモクラシー創造研究所招聘研究員

長野県千曲市・諏訪市、埼玉県宮代町議会改革アドバイザー

岩崎弘宜



茨城県取手市役所 情報管理課長

早稲田大学デモクラシー創造研究所招聘研究員
長野県千曲市・諏訪市、埼玉県宮代町議会改革アドバイザー

いわさき ひろまさ
岩 崎 弘 宜
(ブ〜ちゃん)





議会愛

いわさき ひろまさ
岩 崎 弘 宜

議会事務局職員として通算27年

1992(平成4)年 北相馬郡藤代町役場入庁
議会事務局配属

2005(平成17)年 取手市と合併

2011(平成23)年 人生初めての異動。
広報広聴課 広聴係

2015(平成27)年 再び議会事務局へ異動
局長補佐→事務局次長

2023(令和5)年 情報管理課長

- ・全国自治体や団体、企業から各種講演、研修講師を務める。
- ・長野県千曲市・諏訪市、埼玉県宮代町議会改革アドバイザー就任。
- ・公務員アワード2021受賞、NHKにて個人を紹介する放送、マニフェスト大賞各部門賞4回の受賞や取手市議会の議会改革度ランキング2年連続全国総合第1位を下支え。

無料で読める私の執筆です
お時間あるときに読んでください
良かったら♡マークをポチッとしてね

R E N E W S

**オンライン化進まぬ地方議会、取手
市の突破術と地方自治法改正の提言**



ちよつと真面目に
お話しいたします

議会愛あふれるアナログな

ブ〜ちゃんの本日の結論です！

- 「まずは、やってみよう！」のハートで
- デジタルは難しくない「なれ」
- デジタルが苦手なかたまで目線を下げてください
- 職務を（は）楽しんでください
- 何かを始めるのは怖いことではありません
本当に怖いことは何も始めようとしないこと
- そこに住民の皆さんがいることを忘れない

地方自治法第2条14

地方公共団体は、その事務を処理するに当つては、住民の福祉の増進に努めるとともに、**最少の経費で最大の効果を挙げるようにしなければならない。**

今はA Iを

活用しましょう！

①AI = 人工知能

世界中の大学や企業が、研究・開発中。

特定の課題・問題・タスクの解決しかできない。※例：チェスや将棋、クイズなど。

②AGI = 人工汎用知能

人間並みになんでもこなせる。

特定の課題・問題・タスクを解決する各分野ごとのAIを寄せ集めたモノになると言われている。

AGI = AIの集合体

③ASI = 人工超知能

人間の知性や知能レベルをはるかに超えるレベルでなんでもこなせる。

人間に可能なことならば、人間以上のレベルであらゆる課題・問題・タスクを解決できる。

DX進めてみませんか？

とは言っても…

予算が…

旧態依然のまままで

変えようとしらない…

ほかがやっていない…等々

取手市
取手市議会の
取組み紹介

Democracy (民主主義)

×

Technology (技術)

= DemoTech (デモテック)

チャレンジスタート!

未来に向かっての挑戦！

デモテック



ICTを活用して新しい民主主義の創造

可能性に挑戦する取手市議会！

「デモテック戦略」によって、様々な課題を出している状況。

その課題を解決する策が見出せた先に、新しい形の議会運営などが見えてきます。

「議会」という組織には「住民」が含まれています。「議会には住民がいる。住民の中に議会がある」をオンラインを用いてどのように関心向上できる策があるか…終わりはありません。

タブレットで表決 ～正しく表決結果を広報～

<https://youtu.be/a3LI3lisAuQ?t=4261>



オンライン投票～副委員長互選～

取手市／会議規則を改正し、全国初の電子投票システムによる選挙を実施 (city.toride.ibaraki.jp)



未来に向かっての挑戦！
デモテックの線上に…

音声テック



AIを活用してよりわかりやすい議会に

オンラインに

精度の高い

AI字幕



文字起こしを検索

されているといった部分が、この開かけになっておりますけれども、日程第4、

10:10:24

議案第80号補正予算第13号ということで、この後送付されればここに入る予定だということで、ここに入室させていただいております。

10:10:33

その他については、議案の説明予定の金曜日ですが、オンラインでの説明がございますので、上程だけされて、

10:10:38

説明は、オンラインでの事前の説明ということになっております。

10:10:46

その他、賛成と一般質問、初日に一般質問3人で行うということで、先ほどの説明のとおりでございます。

10:10:49

...

10:10:57

その他ですね関係前に公平委員会の意味、委員の就任の挨拶が関係前にございます。

10:11:05

あと、先ほど言いましたその議案の第80号になるであろう補正予算の第13号なんですが、

退出



大会議室



岩澤 信 委員長



落合信太郎 委員



石井めぐみ 委員



小池 悦子 委員



関川 翔 副委員長



根岸裕美子 委員



齋藤 久代 議長



佐藤 隆治 委員



赤羽直一 委員

こちらの情報を、自ら情報発信するという、文面にかえさせていただいてよろしいですか
賛成の委員は挙手願います。

だれのもの？

議会や議事録

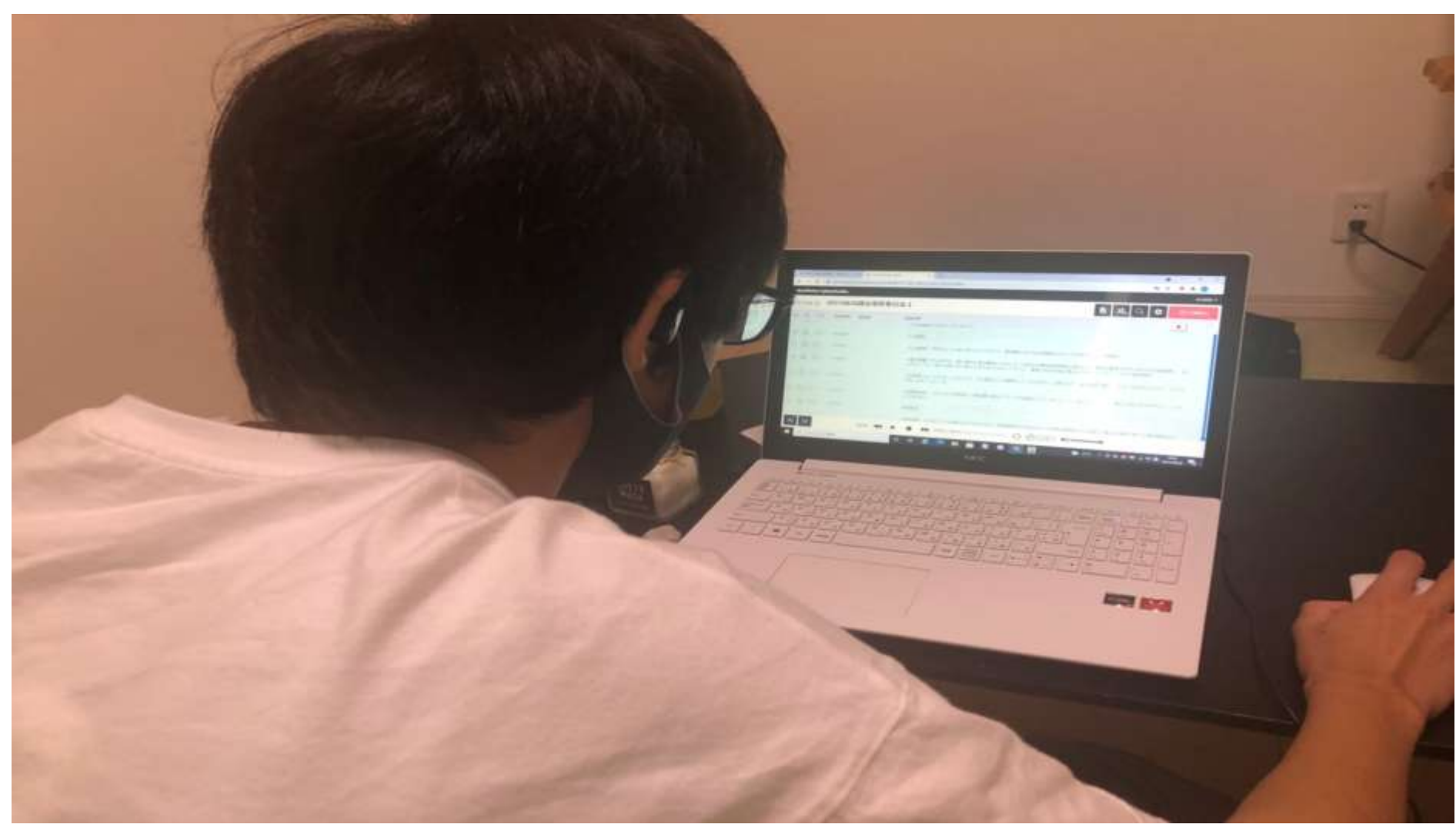
「議会の中に住民がいる
住民の中に議会がある」



AI

&

住民が議事録作成



会議録視覚化システム

会議録検索システムは議会や行政を知っている人（議員・職員）には便利

ただ…政治や行政への無関心が多い現状を見たとき会議録検索システムは効果的ではない（何を検索すればいいの？）

会議録視覚化システムを導入

取手市／自治体初！議会会議録視覚化システム
試行導入 (city.toride.ibaraki.jp)



議事録要約システム

議会情報はWEBを中心に
広報していく方針転換

取手市議会だより 「Web版ひびき」

取手市／市議会だより「ひびき」(令和7年発行分)



タブレットやオンラインの活用

タブレットとZoomで現地調査

取手市／オンラインによるハイブリッドな現地調査！
現地には最少人員を派遣
(city.toride.ibaraki.jp)



○これまでの行政視察（例）

委員会旅費

1人50,000円×8人×4委員会=160万円

○これからの行政視察の1つの在り方（案）

議員・委員派遣旅費 70万円

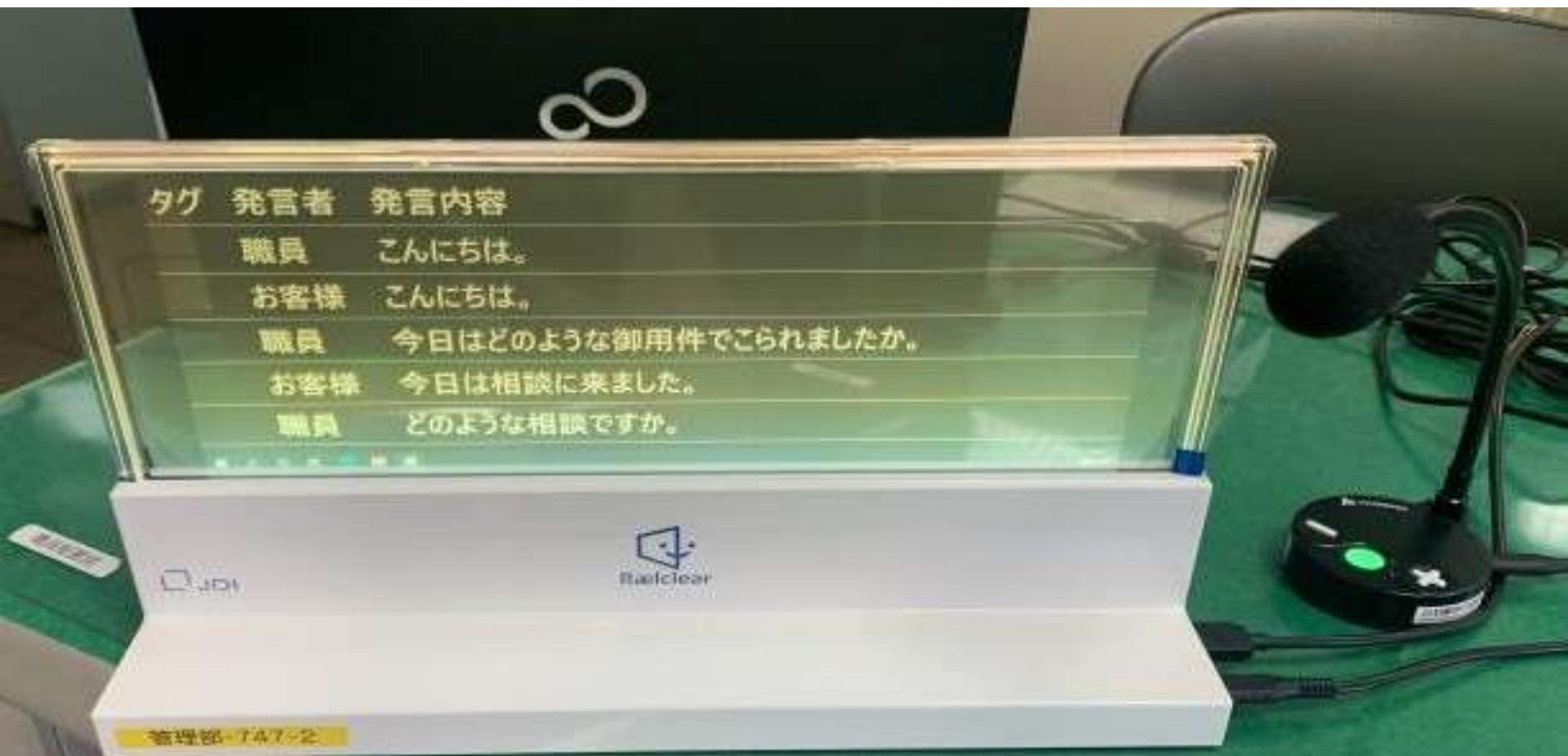
- ・ 現地には議会や委員会を代表して2名程度のみ赴く。タブレットとスピーカーフォン持参。
- ・ その他の議員、委員は、オンラインで参加する。（執行機関職員も参加できる）
- ・ 説明を聞く→質問（現地に赴いている議員、委員→所管委員→委員外議員→職員の順）

最少の経費で最大の効果！

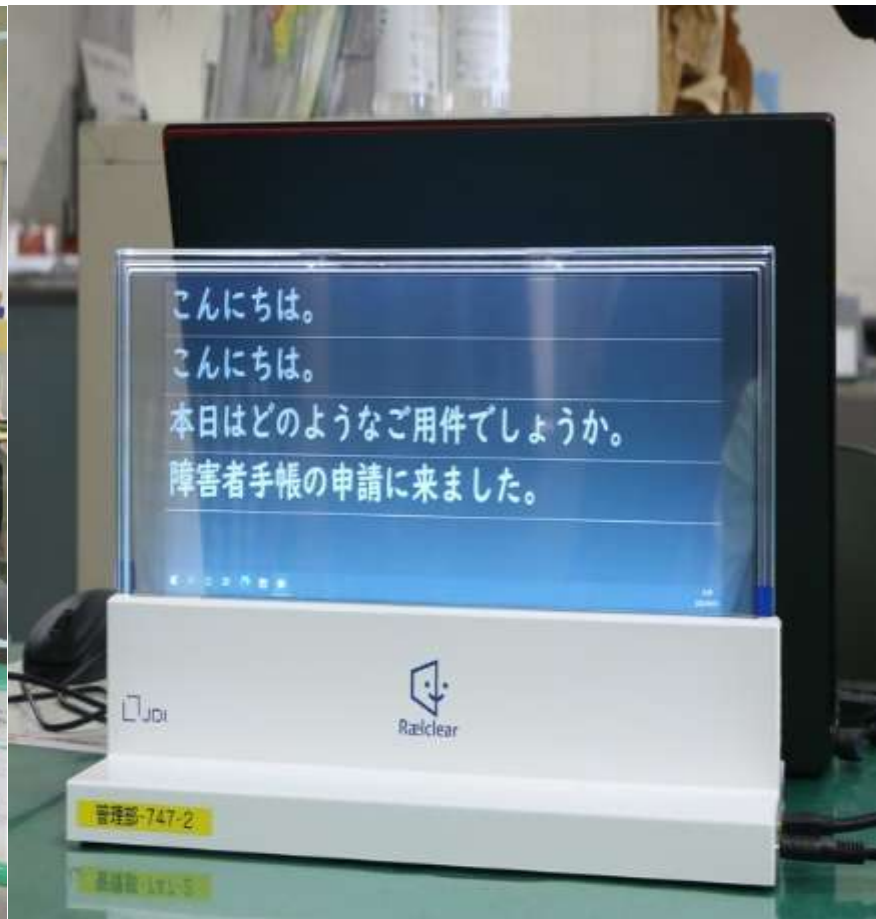
取手市／オンラインによるハイブリッドな現地調査！
現地には最少人員を派遣



障害福祉課カウンターに字幕表示パネルと音声認識システムを設置



障害福祉課カウンターに字幕表示パネルと音声認識システムを設置



カスハラ対策ソリューションのテスト運用開始！



取手市役所における生成A I（チャットGPT）の利用による業務効率化促進

- ・音声認識による議事録作成→AI要約
- ・アイデア出し
- ・各種あいさつ文案出し等々

[取手市／生成AI利用ガイドラインを策定しました](https://city.toride.ibaraki.jp)
city.toride.ibaraki.jp



議会答弁書作成支援システム

- 議会対応業務の効率化
- より高度な情報収集
- より質の高い議論展開に向けた調査研究
- 幅広い想定問答の備え等々

議会答弁書作成支援システム導入！

取手市／生成AIを用いた議会答弁書作成支援システムを活用 (city.toride.ibaraki.jp)



議会答弁書作成支援システム紹介

https://drive.google.com/file/d/1othw6yeYGzC9QzFB91rWeX_1XUGrWCmG/view?usp=drive_link



システム紹介取手市HP

システム紹介動画



このシステムは、自治体のスタッフが必要とする情報を随時提供するAIアシスタントアプリです。以下の特徴を持っています。

1. AIが答弁案を生成：質問事項、要旨を入力するだけで、AIが即座に答弁案を生成します。
2. 文書参照機能：PDFやWordの文書を参照し、それに基づいた答弁案を生成します。既存の資料を最大限に活用し、より具体的で詳細な答弁が可能になります。
3. ニュースリリース参照：質問要旨から他の自治体のニュースリリースを参照することができます。他地域の取り組みを参考にすることで、より広い視野での議論を可能にします。
4. 過去の議事録検索：質問要旨から関連する過去の議事録を検索することができます。過去の議論を踏まえた答弁案作成が可能となります。

本システムを活用いただくことで、よりスムーズで効率的な議会運営を実現できます。

質問事項などを入力してください。

市議会議員の事前通告から、実際の質問を想定して作成してください。

質問事項：

要旨：

資料をドロップしてください

他の自治体の事例

過去議事録の参照

30/4000

質問事項：スマホ教室の今後の展開について

このシステムは、自治体のスタッフが必要とする情報を瞬時に提供するAIアシスタントアプリです。以下の特徴を持っています。

1. AIが答弁案を生成：質問事項、要旨を入力するだけで、AIが即座に答弁案を生成します。
 2. 文書参照機能：PDFやWordの文書を参照し、それに基づいた答弁案を生成します。既存の資料を最大限に活用し、より具体的に詳細な答弁が可能になります。
 3. ニュースリリース参照：質問要旨から他の自治体のニュースリリースを参照することができます。他地域の取り組みを参考にすることで、より広い視野での議論を可能にします。
 4. 過去の議事録検索：質問要旨から関連する過去の議事録を検索することができます。過去の議論を踏まえた答弁案作成が可能となります。
- 本システムを活用いただくことで、よりスムーズで効率的な議会運営を実現できます。

質問事項などを入力してください。

市議会議員の事前通告から、実際の質問を想定して作成してください。

質問事項：スマホ教室の今後の展開について

要旨：これまでの実施状況や今後の展開は、

資料をドロップしてください

他の自治体の事例

過去の議事録の参照

58/4000

画面下段に質問事項や要旨を入力します

質問事項：スマホ教室の今後の展開について

市議会議員の事前通告から、実際の質問を想定して作成してください。

質問事項：スマホ教室の今後の展開について

要旨：これまでの実施状況や今後の展開は。

回答Id:0001

もちろん、以下にスマホ教室の今後の展開についての市議会議員の質問を想定して作成しました。

質問事項：スマホ教室の今後の展開について

要旨：これまでの実施状況や今後の展開は。

質問内容：

1. これまでのスマホ教室の実施状況について

- スマホ教室はどのような頻度で、どのような対象者に向けて実施されてきましたか？
- 参加者の数や年齢層、参加者からのフィードバックはどのようなものがありましたか？
- 教室の内容はどのようなものが含まれていましたか？基本的な操作から、アプリの使い方、セキュリティ対策までカバーされていますか？

2. スマホ教室の効果について

- 参加者がスマホ教室を通じてどのようなスキルを身につけましたか？
- 教室の参加後、参加者の生活にどのような変化や改善が見られましたか？
- 教室の成果を測る指標や評価方法はありますか？

3. 今後の展開について

- 今後のスマホ教室の拡充計画や新しいプログラムの導入予定はありますか？

入力後、右下の紙飛行機ボタンを押すと質問が生成されます

質問内容：

1. これまでのスマホ教室の実施状況について

- スマホ教室はどのような頻度で、どのような対象者に向けて実施されてきましたか？
- 参加者の数や年齢層、参加者からのフィードバックはどのようなものがありましたか？
- 教室の内容はどのようなものが含まれていましたか？基本的な操作から、アプリの使い方、セキュリティ対策までカバーされていますか？

2. スマホ教室の効果について

- 参加者がスマホ教室を通じてどのようなスキルを身につけましたか？
- 教室の参加後、参加者の生活にどのような変化や改善が見られましたか？
- 教室の成果を測る指標や評価方法はありますか？

3. 今後の展開について

- 今後のスマホ教室の拡充計画や新しいプログラムの導入予定はありますか？
- 教室の内容をさらに充実させるための具体的な取り組みはありますか？
- 市民からの要望やニーズに応じたカスタマイズされた教室の提供は検討されていますか？
- 教室の運営に関して、地域のボランティアや企業との協力はどのように進められていますか？

4. スマホ教室を通じたデジタルデバインド解消の取り組みについて

- 高齢者やデジタル技術に疎い市民への支援策として、スマホ教室はどのような役割を果たしていますか？
- デジタルデバインドを解消するための他の施策や取り組みについてもお聞かせください。
- 教室を通じて市民のデジタルリテラシー向上を促進するための具体的な目標や計画はありますか？

以上の質問を通じて、スマホ教室のこれまでの実施状況や今後の展開について詳しくお伺いしたいと思います。

生成された質問の拡大画面。この後、「答弁を作成する」ボタンで問答が生成

質問事項：スマホ教室の今後の展開について

教室を通じて市民のデジタルリテラシー向上を促進するための具体的な目標や計画はありますか？

答弁：具体的な目標として、参加者のデジタルリテラシーを向上させ、全市民がスマートフォンを基本的に使いこなせるレベルに到達することを目指しています。今後も教室の内容を充実させ、より多くの市民に参加を呼びかけていきます。

答弁を作成してください

追加質問を教えてください

「推進」に変更

「検討」に変更

変更点:

【取手市】スマホ教室実績（総括表）.pdf

他の自治体の事例

過去議事録の参照

1223/4000

画面下の空白に計画やデータをドラック&ドロップします

【同事項】：スマホ教室の今後の展開について

教室を通じて市民のデジタルリテラシー向上を促進するための具体的な目標や計画はありますか？

答弁：具体的な目標として、参加者のデジタルリテラシーを向上させ、全市民がスマートフォンを基本的に使いこなせるレベルに到達することを目指しています。今後も教室の内容を充実させ、より多くの市民に参加を呼びかけていきます。

変更点資料を参考により具体的な答弁を作成してください。

文書検索結果:『【取手市】スマホ教室実績（総括表）.pdf』■情報管理課主催のシニアのスマホ体験教室 実施履歴（R3～）令和6年度 令和5年度 令和4年度 令和3年度 4442 参加人数 実施回数 実施施設数 243 20 5 286 24 10 91 84 合計 664 56 21
 <実施施設名> 令和6年度 小文開公民館、相馬南公民館、寺原公民館、久賀公民館、白山公民館、相馬公民館、山王公民館、美濃公民館、藤代庁舎、福祉交流センター 令和5年度 福祉交流センター、戸頭公民館、井野公民館、藤代庁舎、福祉会館（中央公民館） 令和4年度 藤代庁舎、永山公民館、福祉交流センター、六郷公民館 令和3年度 井野公民館、藤代公民館 ■出前講座やイベント出席ブースでのデジタルに関する相談会の開催数（R5～）：とりて未来創造プラン2024の指標 参加人数 実施回数 令和6年度 令和5年度 37 2 150 7 合計 187 9 ※指標値 <実施イベント名> 令和6年度 双葉自治会（5/31）72名 寺原女性学級（10/8）8名 中央タウン防災会（3/1）15名 にぎわいフェスタ（3/20）26件 障害者向けスマホ教室（1/28）2名 市民協働課主催スマホ教室（1/28、1/31）27名 令和5年度 福祉まつり（10/28）相談13名、防災ラジオ2件 にぎわいフェスタ（3/16）相談24名、防災ラジオ3件 <実施イベント名> 双葉自治会（5/31）寺原女性学級（10/8）障害者向けスマホ教室（1/28） 令和6年度 参加人数 72 8 2 市民協働課 主催スマホ教室（1/28、1/31）27 中央タウン防災会（3/1） にぎわいフェスタ（3/20） 合計 15 26 150 ※28日13名、31日14名]

Observationに基づいて、提供された情報を元に具体的な答弁を作成します。

AIの処理中です

中断

答弁を作成してください

追加質問を考えてください

「経途」に変更

「検討」に変更

変更点資料を参考により具体的な答弁を作成してください。

回答id:0004



最終的な答えがわかりました。以下は、スマホ教室の今後の展開について市議会議員が質問する際に役立つ、さらに詳しい情報を引き出すための追加質問です。

追加質問

1. 他の自治体との比較について

- 他の自治体で実施されているスマホ教室の成功事例を具体的に教えてください。
- 他の自治体と比較して、我が市のスマホ教室の参加人数や実施回数はどうなっていますか？
- 他の自治体で特に効果的だったプログラムや取り組みは何ですか？それを我が市でも導入する予定はありますか？

2. 具体的な数値データの取得について

- これまでのスマホ教室の年間参加者数の推移を教えてください。また、年度ごとの実施回数と参加者数の詳細も教えてください。
- スマホ教室にかかる年間予算とその内訳を教えてください。特に、講師費用、教材費、会場費などの詳細を知りたいです。

3. 地域ごとの実施状況について

- 市内の各地域でのスマホ教室の実施状況や参加者数にどのような差異がありますか？
- 特定の地域で参加者が特に多かったり少なかったりする理由についての分析結果はありますか？

4. 参加者のフォローアップについて

- スマホ教室の参加者に対するフォローアップはどのように行われていますか？例えば、定期的な復習会や追加講座の提供など。
- 参加者が教室終了後にさらに学びたい場合、どのような追加プログラムやサポートが提供されますか？

5. デジタル技術の進化に対応するための取り組みについて

- 新しい技術やアプリの登場に伴い、教室の内容をどのようにアップデートしていますか？具体的な事例を教えてください。
- 講師の研修や教材の更新はどのように行われていますか？最新のデジタル技術やトレンドに対応するための具体的な取り組みを教えてください。

答弁を作成してください

追加質問を考えてください

「推進」に変更

「検討」に変更

「追加質問を考えてください」ボタンを押して想定質問をさらに生成

25件の自治体関連のニュースリリースが見つかりました。



683件のアンケートから見るシニア層のスマホ事情！「満足度90 ...

Aug 30, 2018 ... 【キャリアショップ向けスマートフォン教室3連サービス「Smable（スマブル）」とは】 ... 今後、当社ではより多くのシニア層の方々にスマートフォン ...

要約

PRTIMES

大人のためのスマホ・タブレット教室「スマホのコンシェルジュ ...

Oct 22, 2018 ... その地域に根を張り、その町のゆるるスマホ・タブレットのコンシェルジュを目指してまいります。 □今後の展開「スマホのコンシェルジュ」では、実 ...

要約



「9月1日」は防災の日。備蓄の確認・防災訓練！そして ...

Sep 1, 2018 ... 教室について、当社サービス「Smable（スマブル）」を導入しているキャリアショップにて、2018年9月より順次スマホ教室を開催します。 ... 展開に加え ...

要約



親子で楽しく！本格的なキットを使った「IoT工作講座」を子ども ...

Jul 17, 2024 ... 今後の展開について 当社の教育事業は、子ども向けパソコン・プログラミング教室「バレットキッズ」だけでなく、小学生からシニアまでを対象とした ...

要約



高齢者を狙う詐欺から身を守る！「スマホ教室 ～詐欺対策講座 ...

Apr 12, 2025 ... ；スマホの基本操作、詐欺の手口紹介、対策方法のレクチャー ほか、対象：スマートフォンの使い方に不安のある方や高齢の方、地域密着型の弊事業を展開 ...

要約



スマートフォンで出来る“防災”を身に着ける「スマホで防災アプリ ...

Mar 5, 2020 ... 「スマホで防災アプリ教室」の字幕動画の配信をスタートしました。 ○「スマホで防災！」教室について「平成30年7月豪雨」での災害をきっかけに ...

要約



心斎橋筋商店街に「心斎橋グローブ」竣工 「au Style ...

Mar 7, 2022 ... 今後も引き続き積極的な事業展開を進めてまいります。 <au Style ... スマホ教室なども開催いたします。そして、店舗、スタッフともに感染 ...

要約

株式会社ベルコは、2025年4月15日に札幌市のCH美園斎場で「スマホ教室 ～詐欺対策講座～」を開催します。この講座では、急増するスマートフォンを利用した詐欺被害から高齢者を守るために、具体的な詐欺事例の紹介と実践的な対策方法を学びます。参加費は無料で、予約が必要です。株式会社ベルコは、2025年4月15日に札幌市のCH美園斎場で「スマホ教室 ～詐欺対策講座～」を開催します。この講座では、急増するスマートフォンを利用した詐欺被害から高齢者を守るために、具体的な詐欺事例の紹介と実践的な対策方法を学びます。参加費は無料で、予約が必要です。お問い合わせは、電話番号06-6850-2292まで。株式会社ベルコは、2025年4月15日に札幌市のCH美園斎場で「スマホ教室 ～詐欺対策講座～」を開催します。この講座では、急増するスマートフォンを利用した詐欺被害から高齢者を守るために、具体的な詐欺事例の紹介と実践的な対策方法を学びます。参加費は無料で、予約が必要です。お問い合わせは、電話番号06-6850-2292まで。

コピー

448/4000

「他の自治体事例」ボタンを押すとPRTIMESのプレスリリース検索。さらに要約も

質問事項：スマホ教室の今後の展開について

(1/28) 令和6年度参加人数 7282市民協働課主催スマホ教室 (1/28、1/31) 27中央タウン防災会 (3/1) にぎわいフェスタ (3/20) 合計1526150 ※28日13名、31日14名]

回答id:0005

スマホ教室のこれまでの実施状況や今後の展開に関する具体的な情報を元に、市側の答弁をまとめます。

スマホ教室の実施状況について、令和3年度から令和6年度までの実績を報告いたします。これまでのスマホ教室は、主にシニア層を対象に実施されており、年間を通じて複数の公民館や福祉施設で開催されました。例えば、令和6年度には30施設で24回実施され、286名が参加しました。参加者からは「基本的な操作方法が理解できた」「アプリの使い方がわかった」といったフィードバックをいただいております。教室の内容は、基本的な操作方法からアプリの使い方、セキュリティ対策まで幅広くカバーしています。

スマホ教室の効果については、参加者がスマホ教室を通じて基本的なスマホ操作スキルを身につけ、日常生活でのデジタル利用が促進されたとの報告が寄せられています。具体的な指標としては、参加者の生活改善の度合いをアンケート調査などで評価しています。

今後の展開については、スマホ教室の拡充計画として、さらに多くの地域での開催を予定しており、新しいプログラムの導入も検討しています。また、参加者のニーズに応じたカスタマイズ教室の提供も視野に入れています。地域のボランティアや企業との協力も進めており、共同で教室を運営することで、より充実した内容を提供していきます。

デジタルデバイド解消に向けた取り組みとして、スマホ教室は高齢者やデジタル技術に疎い市民への支援策として重要な役割を果たしています。今後もデジタルリテラシー向上を目指し、具体的な目標や計画を立てて取り組んでまいります。

「スマホ教室の今後の展開について」に関連する他の自治体の事例を挙げてください。

答弁を作成してください

追加質問を考えてください

「経過」に変更

「検討」に変更

変更点：「株式会社ベルコは、2025年4月15日に札幌市のOH美園斎場で「スマホ教室 ～詐欺対策講座～」を開催します。この講座では、急増するスマートフォンを利用した詐欺被害から高齢者を守るために、具体的な詐欺事例の紹介と実践的な対策方法を学びます。参加費は無料で、予約が必要です。株式会社ベルコは、2025年4月15日に札幌市のOH美園斎場で「スマホ教室 ～詐欺対策講座～」を開催します。この講座では、急増するスマートフォンを利用した詐欺被害から高齢者を守るために、具体的な詐欺事例の紹介と実践的な対策方法を学びます。参加費は無料で、予約が必要です。株式会社ベルコは、2025年4月15日に札幌市のOH美園斎場で「スマホ教室 ～詐欺対策講座～」を開催します。この講座では、急増するスマートフォンを利用した詐欺被害から高齢者を守るために、具体的な詐欺事例の紹介と実践的な対策方法を学びます。参加費は無料で、予約が必要です。お問い合わせは、電話番号06-6850-2292まで。」を追加

【取手市】スマホ教室実績（総括表）.pdf

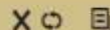
他の自治体の事例

過去議事録の参照

954/4000

要約された情報をシステムにコピーボタンで反映

回答Id:0011



ご質問ありがとうございます。スマホ教室のこれまでの実施状況についてお答えします。

スマホ教室は月に1回の頻度で、主に高齢者を対象に実施してきました。参加者数は平均して30名程度で、年齢層は60歳以上が中心です。参加者からのフィードバックは非常に好評で、特に基本的な操作方法やセキュリティ対策についての講義が役立ったとの声が多く寄せられています。教室の内容には、スマホの基本操作、インターネットの利用方法、アプリのインストールと使い方、そしてセキュリティ対策が含まれています。

参加者はスマホ教室を通じて、基本的なスマホ操作やインターネット利用のスキルを身につけました。参加後は、オンラインでの情報収集やコミュニケーションが活発になり、生活の質が向上したと感じる方が多いです。教室の成果を測る指標としては、参加者アンケートの結果やスマホの利用頻度の変化が用いられています。

今後の展開としては、教室の頻度を月2回に増やす計画や、より高度なアプリの使い方やスマホでの写真編集講座の導入を検討しています。また、市民の要望に応じたカスタマイズされた教室の提供や、高齢者向けの個別サポートの強化についても検討を進めています。教室の運営には、地域のボランティアや企業との協力を進めており、既に数社のIT企業と連携して講師を派遣してもらった準備が整っています。

スマホ教室は、高齢者やデジタル技術に疎い市民への支援策として重要な役割を果たしています。デジタルデバイドを解消するための他の施策としては、無料Wi-Fiスポットの設置やスマホ貸出しサービスを提供しています。教室を通じて市民のデジタルリテラシー向上を促進する具体的な目標として、全市民が基本的なスマホ操作を習得し、オンラインサービスを利用できるようになることを目指しています。

他の自治体におけるスマホ教室と比べて、我が市のスマホ教室は参加者の個々のニーズに応じたカスタマイズされた内容が特徴です。また、企業との連携により講師の質が高い点も独自の工夫といえます。他の自治体で成功している事例を参考にし、より多様なプログラムの導入を検討しています。

答弁を作成してください

追加質問を考えてください

「推進」に変更

「検討」に変更

「推進」「検討」のニュアンス変更ボタンで文章全体を変更



回答Id:0007

スマホ教室の今後の展開について

これまでのスマホ教室の実施状況について

スマホ教室は月に2回の頻度で開催しており、主に高齢者を対象としています。特に、スマートフォンの利用に不慣れな方々を対象に、基礎的な操作方法から始めております。参加者の数は平均して毎回20名程度で、主に60歳以上の方々が多く参加されています。参加者からは「スマホの基本操作が理解できた」「LINEやメールの使い方が分かるようになった」といったポジティブなフィードバックが多く寄せられています。教室の内容には、基本的なスマホの操作方法、主要なアプリの使い方、さらにはセキュリティ対策についてもカバーしております。特に詐欺対策や個人情報の保護に関する講座も提供しています。

スマホ教室の効果について

参加者は基本的なスマホ操作、メッセージアプリの使用方法、インターネット検索、写真の撮影・共有方法などのスキルを身につけています。教室の参加後、参加者は家族や友人と簡単に連絡を取れるようになり、日常生活が便利になったとの声が多く聞かれます。また、デジタルデバイドの解消にも寄与していると考えています。教室の成果は参加者アンケートのフィードバックを基に評価しています。具体的には、満足度や理解度の向上を測定し、次回の教室運営に反映させています。

今後の展開について

今後は、より高度なアプリケーションの使い方やオンラインサービスの利用方法を含む新しいプログラムを導入します。また、教室の頻度を増やすことも予定しています。具体的には、専門の講師を招いての実践的な講座の導入や、参加者が実際にスマホを使って練習できる時間を増やす取り組みを進めます。市民からの要望に応じて、特定のテーマに特化した教室の開催も計画しています。例えば、写真編集やSNSの使い方に特化した教室などを企画中です。地域のボランティア団体や企業と協力し、講師の派遣や運営サポートを受けています。特に、通信キャリアやIT企業からの支援を受けることで、より専門的な指導を提供します。

スマホ教室を通じてデジタルデバイドの解消の取り組みについて

2023-09-19 令和5年総務文教常任委員会（令和5年9月19日）

久保田委員 私は、シニアのスマホ教室について、お問い合わせいたします。まず、今まで行われてきた開催数と会場についてをお

2023-09-13 令和5年一般会計決算・予算審査特別委員会（令和5年9月13日）

立野魅力とりで発信課長 魅力とりで発信課、立野でございます。お答えいたします。LINEにつきましては開設以来、登録者数が増加

2023-09-05 令和5年第3回定例会（第3号）

学務課長（直井 徹君） それでは、お答えいたします。まず文部科学省が実施しました、令和3年度公立学校教職員の人事行政状況調査

2023-09-04 令和5年第3回定例会（第2号）

11番（落合信太郎君） ありがとうございます。ぜひ機会がありましたら、そういった最新技術、ぜひ市民の皆様にも紹介いただければ

2023-03-01 令和5年第1回定例会（第2号）

教育部長（田中英樹君） それでは、久保田議員の御質問にお答えいたします。パソコンやスマートフォンなどのコンピューター機器、ま

2023-02-28 令和5年第1回定例会（第1号）

16番（染谷和博君） ありがとうございます。次回のときには検討を上げていただけるということで、今回これ調べてみて、よく分か

2022-12-01 令和4年第4回定例会（第3号）

教育部長（田中英樹君） それでは、落合議員の御質問にお答えいたします。職員の活用状況という点でございます。まず、学校での活動

2022-09-02 令和4年第3回定例会（第2号）

市民協働課長（佐藤睦子君） たいまの部長の補足答弁をさせていただきます。石井議員ご指摘の、LINEを活用した回覧の情報発信につ

2022-03-08 令和4年一般会計決算・予算審査特別委員会（令和4年3月8日）

丸山秘書課長 秘書課、丸山です。原委員の御質疑に御答弁いたします。取手市国際交流協会では、コロナ禍前は、外国人出

2022-03-03 令和4年総務文教常任委員会（令和4年3月3日）

久保田委員 私は、先月2回開催されましたシニアのためのスマホ教室について伺います。まず参加した方の御意見—アン

2021-11-30 令和3年第4回定例会（第1号）

総務部長（鈴木文江君） 染谷議員の御質問に答弁させていただきたいと思っております。今お話しいただいたとおり、以前、久保田議員のほうか

2021-09-07 令和3年第3回定例会（第3号）

学務課長（直井 徹君） 山野井議員の御質問にお答えさせていただきます。今年度、学校の電話機に時間外自動応答機能を付加する予算

「過去議事録ボタン」から議会会議録検索システムへジャンプし自動検索

議会答弁書作成支
援システムを動か
してみましよう！

皆さんに質問です！

庁内に様々なシステムを導入していても…

- なかなか活用が図られない
- デジタル化への意識改革が…

こんなお悩みありませんか？

当市が抱えている課題

- ① 様々なシステムを導入し、周知していても、なかなか庁内に情報が行きわたらず活用が図られない。
また、新しいシステムを覚えるのが…により、旧態依然の業務負担を負っている
- ② スマホ市役所の本格導入を控え、各課職員の意識改革が必須な状況に…
- ③ 議会答弁書作成支援システムなど、先進的導入システムについて個別に問い合わせ対応が…

結論

一堂に集い、触れ、説明を受けられる機会を設ければいいがっぺよ！

→市DX展を開催！

どんな

展示会だったの？

大会議室と議場を会場に



午前・午後各1回 「議会答弁書作成支援システム」説明や質疑応答



各ブースを設置



当課職員や企業社員からの説明や質疑応答



生成A Iで案内ポスターを作成

取手市DX展

AI・生成AIなどの業務活用を展示

2025年7月24日(木)

10:00~18:30

取手市役所議会棟

2階 大会議室・中2階 議場



職員向け
展示イベント

AI音声認識 技術ゾーン



(株)アドバンスト・メディア

SideBooks クラウド本棚 活用ゾーン



(株)東京インタープレイ

生成 A I で案内ポスターを作成

議会答弁書
作成支援
システム



(株)アドバンスト・メディア

RPA・AI-OCR
活用ゾーン

業務効率化を推進



(株)NTTデータ MCS

LINEを活用した
オンライン
市役所ゾーン



市役所サービスをもっと手軽に

(株)BotExpress

取手市DX展概要（窓口職員が参加できるように配慮）

○タイムスケジュール

10:00 開会

10:30 議会答弁書作成支援システムの紹介や
操作体験

12:00 昼休み

13:30 再開

13:45 議会答弁書作成支援システムの紹介や
操作体験

18:30 閉会

取手市DX展概要 (R7)

○のべ参加者総数 約150人

・取手市職員・議員 約110人

・県内他自治体職員 40人

(12市町村)

※参加企業4社 10人

情報管理課デジタル化推進室職員10人

開催による効果

開催による効果

- 「こんなシステムあったんだ！」
=使ってみよう
→事務改善へ
- 「こうやって使えばいいんだ！」
=理解度促進
→システム機能の十分な活用展開
- 情報管理課職員の皆さん「ありがとう」
=自分たちもがんばろう
→全体のモチベーションUP

結論

皆さんの自治体でもぜひ
開催し、デジタル社会に
向けた全庁の脳内変革に
よる住民福祉向上へ！

感謝

「♥議会愛♥」

本日はありがとうございました!

取手市役所 総務部 情報管理課長

早稲田大学デモクラシー創造研究所招聘研究員

長野県千曲市・諏訪市、埼玉県宮代町議会改革アドバイザー

岩崎弘宜(ブ~ちゃん)

